

## 欧州原子力産業界 公開書簡

[EUの意思決定者へ:

欧州委員会 (EC) フォン・デア・ライエン委員長、ドゥブロフスキ副委員長、ティンマーマンス副委員長、シムソン委員、ブレトン委員

欧州議会 (EP) サッソリ議長

欧州理事会 ミシエル議長]

今日、EUと世界は前例のない健康と経済の危機に直面しており、COVID-19 のパンデミックへの対応はすべての人にとって直ちに優先すべきことである。原子力を中核とするEU全体のエネルギー部門は、その取り組みにおいて引き続き重要な役割を果たしている。

一 従業員、顧客、社会、環境の安全を確保しつつ、必要不可欠な電源を確実に維持している。

EUで生産される電力の26%は原子力によるもので、低炭素電力の最大の供給源であり続けている。しかし、EUの電力構成の50%は、依然として歴史的にCO2を排出してきた化石燃料技術に基づいており、EUが2050年までにカーボンニュートラル経済に移行する際には、これらの技術を新しい低炭素電源に置き換える必要がある。同時に、増大する電力需要を満たすためには、追加の電力容量が必要となる。

投資の課題は大きく、欧州委員会の戦略的ビジョン（「A Clean Planet for All」）は、2050年には原子力が再生可能エネルギーと共にEUのカーボンフリー発電部門の支柱を形成することを明確に認識している。今日展開されている原子力技術は、さらなる原子力技術の革新、研究開発（例えば、先進型及び小型モジュール原子炉）と相まって、24時間365日にわたり低炭素電力を供給するために、再生可能エネルギーを完全に補完している。原子力はまた、地域暖房と低炭素水素生産に大きく貢献することができる。さらに、がんの発見や治療において、診断や治療への応用といった医療分野で不可欠な役割を果たしており、原子力技術は欧州のBeating Cancer Planを支えている。

加盟国は、気候目標を達成するためには、技術中立的なアプローチが不可欠であることを明確にしている。一部の加盟国にとっては、原子力を排除するいかなる解決策も、炭素削減を実現する上でより高価で効率が悪く、供給保証とシステムのレジリエンスのリスクを増大させることになる。EUのエネルギー集約型産業は、世界的な競争力を維持するために、安定した安全で手頃な価格の電力供給に依存しており、原子力は重要な推進力である。

EU全体の考えが経済回復に向かい、コロナウイルス後の経済再建の必要性がある中で、気候変動に取り組むコミットメントは揺らぐことなく、復興努力を導き形作るであろう。したがって、エネルギー部門は引き続き重要な役割を果たすことになる。

欧州の原子力産業界は、以下を継続的に提供することにより、各国およびEUのクリーンでグリーンな経済再生を支援し、その役割を果たす準備ができており、また果たすことができる。

- EU、国、地域レベルでの成長、雇用（今日、原子力産業は110万の直接および間接の仕事を維持する）、富の創出
- 研究とイノベーション
- 輸出拡大の可能性

- 放射性廃棄物関連を含む厳しい環境規制を遵守した、ネットゼロ経済への移行の進展

原子力部門はすでにEUにおける重要な産業部門であり、原子力のライフサイクル全体を通じて強力である。産業のバリューチェーンを維持・強化し、第三国への過度の依存を減らすことの重要性について、EU全体で認識が高まっている。したがって、原子力部門は新たに首尾一貫したEU産業戦略の一部でなければならない。

原子力部門は我々の貢献を果たすために何を必要とするか：

- 政策の策定と実施における一貫性。投資を促進する明確なシグナルを提供し、必要とされる新規の低炭素原子力発電所（大型および小型モジュール原子炉）の供給を可能にするとともに、既存の原子力発電所を維持し、適切であれば長期運転を可能にする。
- EUタクソノミーにおける原子力の位置付けを迅速に解決する科学に基づいた環境評価。技術専門家グループ（TEG）は、適切な科学のおよび技術的知識を持つ専門家が、さらなる分析を行うことを推奨している。これは重要な投資が遅れないように2020年以内に必ず行われなければならない。

結論として、原子力を中心とするエネルギー部門は、EUを支える重要な役割を果たし続けており、家庭や企業に安全で競争力があり信頼できる方法で必要不可欠な低炭素サービスを提供し、経済を動かし続けている。また、我々は、我々全てが目指す将来のよりクリーンで強靱な経済を提供することを支援し、経済回復において主導的な役割を果たす用意がある。

署名者：

企業：



原子力産業団体：

